

皆さんは「貝塚<sup>かいづか</sup>」という名前を聞いたことがありますか？縄文人は意外に貝をたくさん食べていたようで、食べ終わった貝がらをゴミ捨て場に捨てていました。

このゴミ捨て場を一般に「貝塚」と言います。日本の土壌は酸性の為、骨などは残りにくいのですが、貝塚ではカルシウム分が大量の貝殻から出るために、土がアルカリ性になり、骨などが溶けずに残っているのです。そのため、貝塚を調べるとどんな肉や魚を食べていたのかがわかります。

しかし、貝塚から見つかっているものばかりを食べていたわけではありません。縄文時代は基本的に食物

縄文人の暮らし②く食く



体験学習「どんぐり料理クッキング」

素材の味を活かした食事、縄文人は意外にグルメ？

そこで縄文土器を使ってじっくり煮込んだり、かごや袋などを使い水にさらしたりすることでアク抜きをして、おいしく食べられるようにしたのです。

採集の生活をしていました。採集したものを食べ、残ったものは穴や屋根裏に貯蔵しておいて、必要に応じて使います。貯蔵していた主なものは、どんぐり・栗・トチ・クルミなどの木の実はです。

縄文人にとって木の実は、私たちがご飯のようなもので、とても大切なものでした。

ちなみに、今私たちが食べているご飯は、お茶碗1膳で約150gありますが、コナラのどんぐりだと約100gあれば同じエネルギーを取ることが出来ます。でもほとんどのどんぐりは、アクが強くて食べられません。

## こみゅにTeaたいむ

23 秋目

### 町内会に加入しましょう

私たちの生活は、地域の皆さんやご近所の人との協力によって成り立っています。災害などのいざという時、頼りになるのは、同じ地域に生活している周囲の人です。日ごろから顔の見えるお付き合いをし、連帯感を深めることは、とても大切なことです。

町内会は、地域住民により自主的に組織された、自分たちの住む地域を快適に住みよくするための自治組織です。市内には町内会のほかに常会、自治会、協議会、振興会などさまざまな名前の自治組織があります。

町内会では、地域住民の親睦、自主防災組織の結成、防犯活動、清掃活動・街路灯設置などによる環境整備、お祭り・運動会などの行事への参加、行政への地区要望など、私たちの生活に関わる身近な自主活動を行っています。「面倒くさいから」「よく分からないから」といって地域のことを他人任せにするのではなく、お互いに協力しあうことが必要です。あなたも町内会に加入して地域に根ざし快適に暮らしましょう。

町内会への加入については、お住まいになっている

地区の町内会などの自治組織または地域づくり推進課までお問い合わせください。

なお、町内会などの自治組織がない地区で、新たに町内会などを作りたい、でもどうしたらいいか分からないという場合は、お住まいの地区の地域担当職員または地域づくり推進課までご相談ください。



町内会の活動の様子（堀野まつり）

町内会などの活動や、新たに町内会組織の立ち上げを行う地区に対し、市では町内会等活動支援交付金、まちづくり事業補助金で活力ある地域づくりに向けた支援を行っています。

この欄の問い合わせは、市地域づくり推進課（内線 653）まで